

**大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム**  
**第2回ナノ理工学情報交流会（一般公開）**  
**～ ナノプリント関連先端ナノ材料・技術の応用展開 ～**

日時：平成22年9月6日（月） 13：45～19：00頃

場所：大阪大学・基礎工学研究科 G棟217号室（講師来訪）

＊大阪大学東京オフィスサテライト教室（遠隔講義配信）

＊四日市商工会議所内サテライト教室（遠隔講義配信）

＊上記以外に、現在ナノテク社会人教育プログラムのサテライト教室を開講されている企業様は（遠隔講義配信）による受講が可能です。配信をご希望の場合には、下記メールアドレスまでご通知下さい。

主催：大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム

共催：大阪大学ナノサイエンスデバイス教育研究センター

テーマ：プリンテッドエレクトロニクス・インプリントの最前線

ナノスケール材料の大量成形、ナノ接着、フレキシブルナノ配線など、プリンテッドエレクトロニクス、ナノインプリント、ナノ接着など、ナノスケールデバイスに欠かせない技術の融合が強く望まれています。今回、ナノ粒子を用いたインクジェット印刷、スクリーン印刷、接着、さらにエレクトロニクスデバイスの実装、無反射構造組み込みなどを目指す第一線の研究者の方々にご講演を戴き、活発な討議と交流の場を企画しました。

プログラム：

13:45-13:50 はじめに

13:50-14:40 菅沼 克昭氏（阪大 産業科学研究所教授）

「プリンテッドエレクトロニクスのための低温配線技術」

有機導電材料、セラミックス導電材料との際に注目し、銀ナノ粒子と銀塩インクを用いた配線技術の低温化の現状を紹介する。また、銀粒子を用いた伸縮配線についても紹介する。

14:40-15:30 中許 昌美氏（大阪市立工業研究所理事）

「ナノ粒子ペーストによる微細配線形成・接合技術」

フレキシブルな高分子基板を想定した金属ナノ粒子ペーストによる微細配線形成およびガラス基板への酸化物ナノ粒子ペーストによる透明電極形成に関する最近の研究成果とともに、エレクトロニクス実装に欠かせない低温接合技術への金属ナノ粒子ペーストの応用展開について紹介する。

15:30-15:40 休憩

15:40-16:30 大森 裕氏 (阪大 工学研究科電気電子情報工学教授)

「フレキシブル有機エレクトロニクスデバイス」

有機ELをはじめとする有機デバイスは、プラスチック基板上に印刷技術により作製することができ、フレキシブルなエレクトロニクスデバイスが実現できる。有機デバイスの研究開発の現状と特徴について議論する。

16:30-17:20 伊藤嘉則氏 (オムロン(株)エレクトロニクス&メカニカルコンポーネンツビジネスカンパニーエンジニアリングセンタ 技術専門職)

「ナノインプリント技術と光デバイスへの応用」

ナノインプリント技術はナノメートル精度を確保しながら、ハイサイクルで高精度パターンの転写が可能な技術である。今回、このナノインプリント技術の特長を解説すると共に、マイクロレンズやモスアイ型反射防止フィルムなどの光デバイスへの量産化応用例を紹介する。

17:30-19:00 懇談会 (大阪大学・基礎工学研究科 G棟 217号室)

オーガナイザー： コンソーシアム企画運営委員 奥野 雄太郎 オムロン(株)  
コンソーシアム企画運営委員 山本 宏 BASF ジャパン(株)  
コンソーシアム企画運営委員 伊藤 正 大阪大学

参加費： コンソーシアム会員、学生及び大阪大学教職員は無料

(コンソーシアム企業会員の場合、社内から何名でも無料で参加が可能です)

上記以外の方は資料作成費として1000円/人

参加登録：氏名、所属、連絡先を記載の上、メールにて大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局へお申込み下さい。

E-mail： nano-cons@nanoscience.or.jp

HP： <http://www.nanoscience.or.jp/>

登録締切：平成22年8月26日(木)

問い合わせ先：大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局

TEL：06-6853-6859 (FAX と共通)